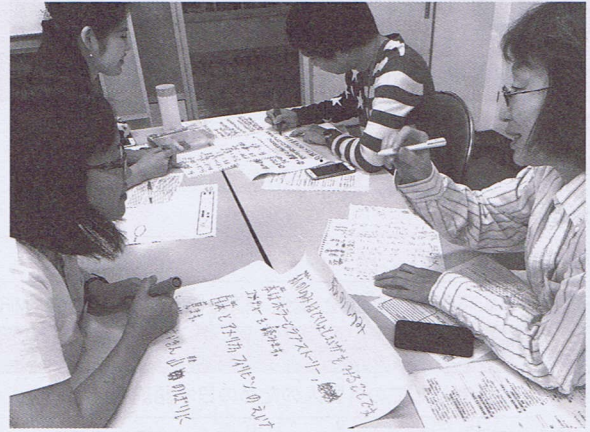


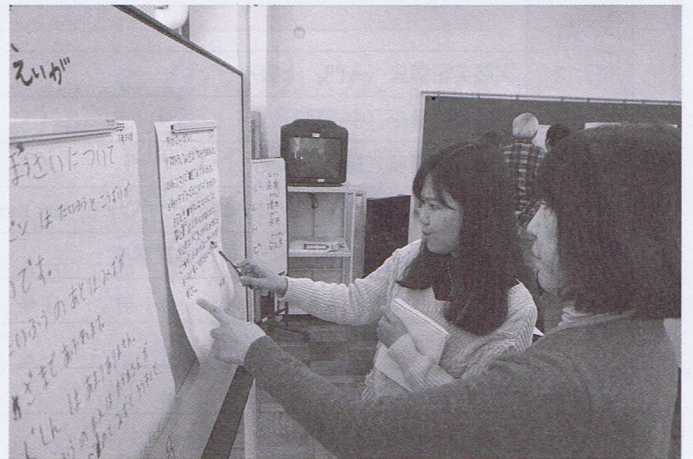
当協会では、文化庁の「生活者としての日本語」というコンセプトにもとづき、日常的な場面で使われる日本語を日本語サポーターと学習者が対話形式で学ぶ講座を開講しています。以前は、文法説明型の日本語講座を開講していましたが、知識の詰め込みだけでは生きた会話を学ぶことができません。そこで日本語テキストは使わず、学習者自らが学びたい場面やテーマを決めて、日本人と交流しながら実践的な会話を学ぶレッスンスタイルに移行しました。「趣味」や「最近買ったもの」「行ってみたい場所」など、個人的な関心事から、「防災」「病院」「ルールやマナー」など公的・社会的な内容を取り上げています。

毎回のレッスンでは、まずサポーターがモデル会話を提示し、学習者の発話を促すことから始まります。サポーターには学習者が発話しやすいような雰囲気づくりを行ったり、やさしい日本語で表現したりすることが求められます。学習者はモデル会話を自分自身に置き換えて発話する、発話した内容を書き取る、それぞれの成果物を全員で読み合う、という一連の学習を行います。これにより総合的な日本語力を向上させることが期待されます。

現在、アジアの様々な出身国・出身地域の人々が学んでいます。一緒に活動していただける日本語サポーターを募集中です。私達と一緒に楽しく交流しながら、学習者のお手伝いをしませんか！

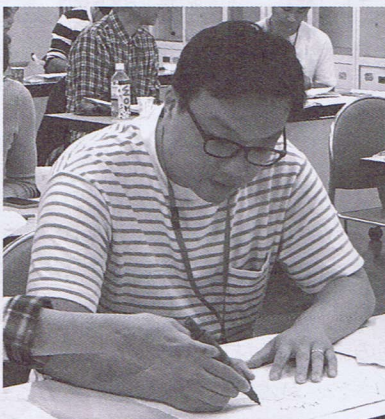


生き生きとした会話を学び、発話した内容を横造紙にまとめていく。

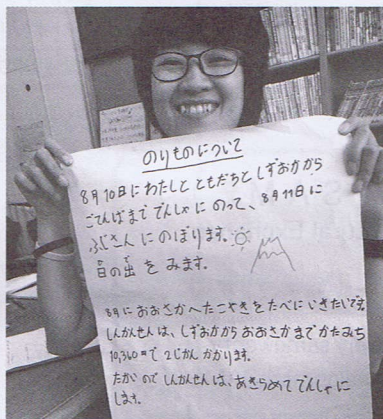


発話した内容を清書し、日本語サポーターと一緒に読み合う。わからないことがあったら、その場で確認。

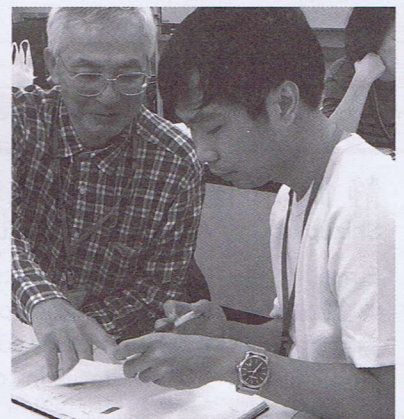
学習者プロフィール



台湾の大学で物流を学びました。韓国に4ヶ月留学しました。卒業後、1年間軍隊に行き、その後日本の物流会社で7年働きました。去年静岡に来ました。今は学生です。
(台湾・エディさん)



タイの研究所で3年間サングの研究をしました。今は、静岡大学農学部の博士課程でサングを研究しています。日本語は日本に来るまで話せませんでした。
(タイ・クワンさん)



大学で電子工学を勉強しました。卒業後、資格を取るために6ヶ月勉強し、日本のソフトウェア会社で4年間働きました。今は別の会社で1年間の予定で働いています。
(フィリピン・カールさん)